

かすみがうら市教育委員会12月定例会会議録

1 招集期日

平成28年12月20日(火)

2 招集場所

千代田庁舎 第1会議室

3 出席委員

教 育 長	大 山 隆 雄
委 員	田 澤 高 保 (教育長職務代理者)
委 員	中 島 和 彦
委 員	飯 村 惠 子
委 員	宮 本 雪 代

4 欠席委員 なし

5 委員以外の出席者

教 育 部 長	飯 田 泰 寛
学 校 教 育 課 長	坂 本 重 男
生 涯 学 習 課 長	中 泉 栄 一
郷 土 資 料 館 長	屋 代 久 雄
図 書 館 長	和 田 哲 男
学校教育課課長補佐	加 藤 洋 一
学校教育課総務担当係長	岩 田 幸 生

6 協議事項

報告第16号 かすみがうら市学区審議会委員の解職及び委嘱について

7 会議の概要

開会 午後1時00分

- 学校教育課総務担当係： 起立、礼、着席。
- 教 育 長： では、本日は、4名の委員さんが出席されておりますので、会議は成立いたします。これより、12月の定例教育委員会を開催いたします。次に、「教育長報告について」、私よりご報告させていただきます。資料教育長動静により報告する。(12月の教育長事務報告、内容省略)ただいまの報告について、何か質疑等ございましたらお願いします。特にございませんか。特にないようでしたら、早速、今月の議案にはまいります。
- 学校教育課長： 報告第16号「かすみがうら市学区審議会委員の解職及び委嘱について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。それでは資料の2ページをご覧頂きたいと思います。報告第16号かすみがうら市学区審議会委員の解職及び委嘱について、平成28年12月20日提出、かすみがうら市教育委員会教育長名でございます。かすみがうら市学区審議会委員の解職及び委嘱について、かすみがうら市学区審議会条例第3条の規定により、別紙のとおり解職及び委嘱しました。このことをかすみがうら市教育委員会事務専決規程第2条第2項の規定に基づき報告し、教育委員会の承認を求めます。
- 教 育 長： ただいまの説明について、何か、ご質疑はございませんか。
 (「質疑なし。」の声あり)
 質疑なしと認めます。よって、報告第16号につきましては、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。
 (「異議なし」の声あり)
 ご異議なしと認めます。よって、報告第16号は、原案のとおり承認します。
- 学校教育課長： 以上で本日の付議案件は全て終了いたしました。次に、事業報告及び事業計画の事項に入ります。学校教育課より、順次、説明をお願いします
- 学校教育課長： 学校教育課の事業報告及び計画を説明(12月の事業報告及び1月の事業計画、内容省略)
- 学校教育課長(指導室長代理)： 学校教育課 教育指導室の事業報告及び計画を説明(12月の事業報告及び1月の事業計画、内容省略)
- 生涯学習課長： 生涯学習課社会教育係・スポーツ振興係の事業報告及び計画を説明(12月の事業報告及び1月の事業計画、内容省略)
- 郷土資料館長： 生涯学習課郷土資料館の事業報告及び計画を説明(12月の事業報告及び1月の事業計画、内容省略)
- 生涯学習課長(霞ヶ浦中地区公民館長代理)： 霞ヶ浦中地区公民館の事業報告及び計画を説明(12月の事業報告及び1月の事業計画、内容省略)
- 生涯学習課長(千代田中・下稲吉中地区公民館長代理)： 千代田中地区公民館及び下稲吉中地区公民館の事業報告及び計画を説明(12月の事業報告及び1月の事業計画、内容省略)
- 図書館長： 図書館の事業報告及び計画を説明(12月の事業報告及び1月の事業計画、内容省略)
- 教 育 長： ただいまの説明について、何か、ご質疑はございませんか。
- 委 員： 生涯学習課郷土資料館のほうですけど、1月3日に博物館としてオープンするというので、オープニング式典ということで書いてありますけど、何か式典として具体的に考えているのがあれば、お聞かせいただきたいと思います。
- 郷土資料館長： 1月3日は、お城市と合同ということで、朝9時50分からテープカットと看板の除幕式ということで予定しております。その後継続してお城市のほうに入っていくというスケジュールで予定しています。式典的にはテ

- 一プカットと除幕式を予定してございます。
- 委員：わかりました。ありがとうございます。
- もう一つ、同じく生涯学習課の方で社会教育係・スポーツ振興係の方ですけれども、12月23日から26日まで、沖縄子ども探検隊事業ということで行かれるわけですけれども、5、6年生20名ということですが、学校的な偏りとかその辺何かあれば。
- 生涯学習課長：今、何人何人という資料がないのですが、昨年度も今年度も、主に下稲吉のお子さんが多いかと思えます。それは生徒の数もあるかもしれませんが、下稲吉地区の子どもが多いということです。
- 委員：わかりました。同じ様に募集を出しているでしょうけれども、下稲吉地区の方のほうが興味を示される方が多い。20名の定員に対して、実際に集まった人員というのはどうでしょうか。
- 生涯学習課長：定員は実際20人ではなく、24人です。昨年は夏の事業で計画をしましたところ、24人のところ53人ぐらい集まったのですが、実際は台風とかいろいろなのがあって行けなくて、去年も冬にやりました。今年はかなり確率で、30%ぐらいの確率で、夏であれば島に渡れないということで、今回は最初から冬の沖縄子ども探検隊ということで募集したところ、実際には定員に達していないというような状況です。24人のところ実際21人申込みがあったのですが、進めていく上で1名キャンセルありまして、最後は20人ということです。
- 委員：そうすると申し込んだ方は全員の方が座間味のほうに行かれるということですね。
- 生涯学習課長：今年はそうです。
- 委員：わかりました。ありがとうございます。気をつけて行っていただきたいと思えます。以上です。
- 教育長：その他、ございませんか。
- 委員：9ページの郷土資料館のほうで、12月3日の下大津地区の活性化講座についてなんですけど、これはどういう感じで行われましたか。
- 生涯学習課長：これは郷土資料館の方に出しておりますけど、実際は下大津地区公民館の事業です。考え方としては、昨年、これは資料館の事業で、志士庫地区活性化講座というのをやりまして、それで文化財のボランティア組織みたいなのが立ち上がったこともありまして、下大津地区でやって、下大津地区で桜を保存したりという話もあるので、例えば将来的にはボランティア組織でも立ち上がればいいなということで、内容としては、下大津地区にどんなすばらしいところがあるのかを勉強してもらって、自分のふるさとってすばらしいところだなと感じてもらって、誇りを持ってもらったり、そういう意味のもので、ふるさと教育の一環の事業ということです。
- 委員：そうするとここに参加している方は、下大津地区の方が多いわけですね。
- 生涯学習課長：はい。原則としては下大津地区以外の方も参加しても大丈夫なのですが、基本的に下大津地区の方だと思います。だいぶ多く参加していただいております。
- 委員：そうすると、これはまた1月25日にも予定されておりますけれども、前もって申込みしなくても、行くことはできるのですか。してないと無理？
- 生涯学習課長：基本的には申込みいただいた方に参加していただいているとは思いますが。会場が許す範囲であれば大丈夫だと思います。もう1回目2回目やっていますが、ただ、1回1回完結で、連続してやっているわけではないので、1回1回では参加できると思います。希望があれば。
- 委員：講座と言うのには、やはり誰かしら先生とか、専門の方がいらっしゃる

のでしょうか。

- 生涯学習課長： 基本的には学芸員の方でやってもらっています。
- 委員： 下大津地区の活性化ということで、今回は出ておりますけども、他の地区ではこういう講座をやってほしいという要望はございますか。
- 生涯学習課長： 基本的には私達の方から働きかけでやっていただいたのですが、他の地区にも刺激になって、他の地区がそういうことを自分達でもやりたいと思うってくれることを思って最初にやった事業ですけど、安飾地区でやりたいという話が届いてはいるので、そういう点では、後は、例えば下大津の桜まつりもそういう気持ちで行っていただいて、それと今年美並地区でもやりたいという話もありますので、そういう意味ではやった意味はあったと思います。
- 委員： そうですね。学校が統合されて、地域のつながりが少なくなって、ちょっとさびしい思いをしている中で、こういう講座が開かれるというのは、絆を深め、地元のことを再確認することにもつながり、また活性化につながると思うので、全体に広がっていくことを望んでいます。頑張ってください。
- 教育長： その他、ございますか。
特にないようですので、次のその他の事項に入ります。報告事項等がありましたら説明をお願いします。
- 学校教育課長： 先程、学校教育課の報告でお話いたしました、前回、前々回ですか、教育振興基本計画をご説明させていただいて、時間が限られている中でしたので、ご意見等ございましたら、出していただければ。
- 教育長： それでは、今お話にありました前回配布された資料ですね。それで前回伺うことができないで、ここを聞きたいというところがありましたら、お出しいただければと思います。
- 委員： 40ページ、学校教育豊かな心の育成、ですけれども、大綱にもあります人間性豊かでよりよい生き方を求める、というところから来ていると思うのですが、とても大切なことで、具体的施策として、読書とか、道徳教育とか、人権教育とか挙がっていて、どれも本当に大切なことと思うのですが、豊かな心の育成というのは、知識として頭で学ぶだけで身に付くのか、という疑問というか不安あり、実際、今、学校で、読書についても道徳についても人権についても、たくさん子どもたちは勉強して、わかっていることはたくさんあるけれど、なかなか身に付いていない、実践するまでに至らない、そういきたいと思っているけど、うまくいかないという状況にあるのではないかと感じています。もちろん頭で理解することも大切だけれど、実践していくためにはさらにそれを身に付けて、よりよく生きていくために、さらに何かが必要ではないかなと感じておりました、それは何だろうって一生懸命考えてみたのです。十分わかっているのにできない状況を、どうしてだと考えたときに、食育っていうものが頭に浮かんだのですが、もちろん食育に関しても他のページでも謳っていただいているのですが、かすみがうら市は、前回委員さんもおっしゃってくださったように、とても農作物をたくさん作っている環境の中で子ども達は育っています。そのような環境を上手に活用して、学校の中で食を通して、おいしいものを作ってみんな食べて、家族で食べて、そのような時間を過ごすことで、心って豊かになるのではと、私も子育てをしながら感じています。そういうことを何か盛り込めたらいいのではと、読書も道徳も人権教育も大事なことですが、豊かな心とは、子ども達が成長していく過程でうまくいかない時でも、しっかりごはんを食べて、ちゃんと前を向いていける力になるのではと思いますので、盛り込んでいただけたらと思ったのですが。

- 教 育 長 : 委員さんの要旨としては、食育というその辺りのことについてですね。もう少し強く盛り込んでいただけたらいいかなと。
- 委 員 : 触れて記載していただけるとありがたいのかな、ということですね。
- 教 育 長 : かすみがうららしさの食育も大切ですよね。
- 委 員 : はい。それも入れつつ。
- 委 員 : それと、朝ね、しっかり食事をとって学校へ来るとか。
- 委 員 : はい。毎日じゃなくてもいいのですが、そういうことを体験しながら、大きくなってくれるような取組みが。
- 教 育 長 : 今ご要望が出たわけですけど、説明を求めます。学校教育課長。
- 学 校 教 育 課 長 : ご意見いただきまして、ありがとうございます。
食育については、委員さんお話のように健康や体力の向上で、44ページのところで記載をいたしております。こちらは学校給食と食育という形で、食の知識や栄養バランス、あと、最後の点で地場産物を使った献立の普及というような記載でございます。先程ご提案いただいた部分につきましては、食育を通して心の育成的な部分というようなお話でございますが、現時点で計画のとりまとめは、具体的施策を個別に取りまとめでございます。関連施策の記述はございません。
- 教 育 長 : 44ページのところに学校給食と食育って、そこに触れられていますけど、これはどちらかというと健康、体力の向上ということで、委員さんがおっしゃっていることは、豊かな心の育成、そこに食育も大きく関与しているのではないかとということで、そこに食育を盛り込んでいただけるとありがたいというような、そういうことでしょうか。
- 委 員 : はい。食育を通して、竹下和男先生の「お弁当の日」のような、お弁当を通して子ども達が色々なことを学んでいけるような、感謝する気持ちとか、コミュニケーションする大切さとか、そこから豊かな心が育っていくかなと思います。ぜひ、来年も教育振興基本計画の策定委員会ありますので、再度検討していただいて、盛り込んでいただけたら、かすみがうら市の色々な特色ある農産物なども活用していただき、取り組んでいただけたらと思います。
- 学 校 教 育 課 長 : そういったご意見をいただいたということは、ご報告させていただきます。今後の見直しができるかどうかについては、その中で検討させていただきたいと思っております。
- 委 員 : 意見があったということで、よろしく願いいたします。
- 教 育 長 : その他、特になければ、次回の定例教育委員会の日程を決めたいと思います。次回の定例教育委員会は1月26日木曜日、午前9時からあじさい館で行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。
〔「異議なし」の声あり〕
それでは、そのようにいたします。
以上で、本日の定例教育委員会を閉会いたします。
お忙しい中、ご質疑、誠にありがとうございました。
- 学 校 教 育 課 総 務 担 当 係 : 起立、礼。

閉会 午前9時55分

教 育 長

書 記 加藤洋一

書 記 岩田幸生